

propeller

東大生の勉強計画提供サービス

S p e c i a l E d i t i o n

特集 | propeller流 勉強計画の立て方マニュアル

3rd edition, revised on 2023. 3. 5

Designed by Gn.

Contents

— 目 次 —

01 イン트로ダクション | p.01~

そもそも勉強計画って何なの？ どういうメリットがあるの？ 必ずやらなきゃいけないことなの？ ……と、疑り深いあなたへ。

勉強計画は、「勉強の目標」「勉強の手段」を組み合わせたものである。/ 勉強計画は、期間に応じていくつ種類がある。/ 勉強計画は、目的によって使い分ける。/ 勉強計画には、「受験というものに現実味が出てくる」「一貫した勉強ができる」「精神的にラクになる」などのメリットがある。



02 アウトライン | p.10~

propeller オリジナルの勉強計画は4つに分かれる。その全貌を知るだけでは満足できず、背後に隠れる理屈まで気になってしまうあなたへ。

長期の勉強計画 = 抽象的な部分。長期の勉強計画を立てることで、受験というもののリアリティが増し、一貫した勉強をできるようになる。/ 短期の勉強計画 = 具体的な部分。短期の勉強計画を立てることで、長期の勉強計画を実現させやすくなる。/ 中期の勉強計画は、長期と短期の勉強計画をつなぐためにある。長期計画を、短期計画で考える期間ごとに細分化する。中期の勉強計画を立てることで、目的意識をハッキリでき、「遅れ」の影響を最小限に抑えられる。/ 「中期勉強計画 I」でテーマを決めて、「中期勉強計画 II」で勉強内容を決める。/ 勉強計画を立てるときは、「これはやらなくちゃ本当にダメ」という最低限の計画にするように注意する。計画を立てるときの「最小限」は、実行するときの「最大限」である。/ 立てた計画から遅れてしまった場合は、躊躇せずに修正する。このとき、勉強の「やり方」を工夫すれば、修正せずに済むケースもある。

03 勉強計画のアップデート | p.24~

よし！勉強計画を立てた。あとはこれに沿って勉強するだけだね。→ 破綻。このくだりを幾度となく繰り返している、三日坊主ぎみなあなたへ。

計画は、期間が長いものから考え、期間が短いものから変更する。/ 短期の勉強計画は1週間くらい、中期の勉強計画は1か月くらいのペースで更新する。/ 長期の勉強計画を変えることはほとんどない。/ 勉強の「やり方」を工夫して、遅れを調整する。/ 模試を活用して、弱点を潰すという方針で勉強計画を考える。/ どうしても計画が上手くいかないときは、周りにアドバイスを求める。



04 勉強計画の実例 | p.30~

理屈？ 根拠？ 勉強計画のメリット？ 細けえことはいいんだよ。実際のやり方を教えろよ！ と思っている、せっかちなあなたへ。

勉強計画は、情報収集が命。/ 様々な種類のサイトから、情報を集めるべし。/ propellerの勉強計画は、「情報収集」→「長期勉強計画」→「中期勉強計画 I」→「中期勉強計画 II」→「短期勉強計画」の順番。



05 おわりに | p.41~

特に中身はありません。この資料へのご意見・ご感想・ご要望などがあれば、p.41に記載されている連絡先をご利用ください。

この資料を手にとってくれたあなたへ

数ある受験関連サイトから、有名とは言えないこのサイトを見つける。

そしてこの資料をダウンロードする。

これは、受験生みんなができることではありません。

自覚がなかったとしても、あなたには熱意がある。自分自信を見つめる強さがある。素晴らしいことです。

あなたが、この資料を読んで何かを掴めますように。

あなたの受験勉強が、よりよいものになりますように。

そして、努力が実を結びますように。

propeller は、頑張るあなたを、心から応援しています。

propeller

東大生の勉強計画提供サービス

propeller 流 勉強計画の立て方マニュアル

勉強計画を立てるのに必要な考え方を、嫌というほど詰め込みました。

イントロダクション



「勉強の計画を立てたところで、問題が解けるようになるわけではない。」「計画を立てても、どうせその通りにコトは進まない。」「立派な計画を立てても、それだけで満足してしまうだろう。」こんなことがよく言われます。気持ちはよく分かる。勉強計画はきれいごとなのかもしれない。という考えが、頭をよぎります。

でも、これらはすべて、勉強計画の立て方次第なのです。確かに計画を立ててもいきなり問題が解けるようになったりはしないけれど、計画をうまく立てることで得られるメリットは、実はたくさんあります。

勉強計画を立てるのに特別な能力はいりません。あなたの受験勉強がより実のあるものになるよう、propeller にお手伝いをさせてください。

ここがポイント！

- ✓ 勉強計画は、「勉強の目標」「勉強の手段」を組み合わせたものである。
- ✓ 勉強計画は、期間に応じていくつか種類がある。
- ✓ 勉強計画は、目的によって使い分ける。
- ✓ 勉強計画には、「受験というものに現実味が出てくる」「一貫した勉強ができる」「精神的にラクになる」などのメリットがある。

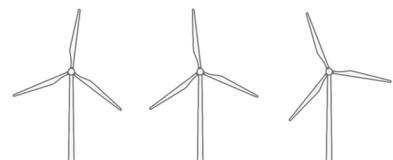
▶ そのまもの話

まずは、「計画を立てる」という行為のイメージをハッキリさせていきましょう。

勉強計画 と聞いたら、皆さんは何を想像するでしょうか。勉強計画といってもいろいろあります。中には「6:00 起床 → 7:00 朝食 → 7:35 数学 ……」みたいなものを想像した人もいるでしょう。

でも propeller 的には、こういうものは勉強計画としては捉えません。propeller は、「勉強計画には必要な要素が2つある」と考えていて、上のものは要素がどちらも足りていないからです。

propeller 流の勉強計画が持つ2つの要素について、ここから説明していきます。



▶ その話・続編

propeller は、勉強計画は「勉強の目標」と「勉強の手段」の2つの要素を持っていると考えます。

理由は単純。そもそも「計画」というワードが「目標と手段を組み合わせたもの」という意味だからです。これをもとにすれば、「勉強計画」は、「勉強の目標と勉強の手段を組み合わせたもの」ということになりますよね。勉強計画のイミについて、言葉的な方向からアプローチしてただけです。この考え方はかなりテキトーのように思えて、実は的を射ている部分もあると私は思っています。

先ほどの「6:00 起床 → 7:00 朝食 → 7:35 数学」というスケジュールを取り上げてみましょう。…目標が書かれていませんね。そして、例えば数学という教科は書かれているけれど、数学を勉強する手段も書かれていません。目標も、その手段もハッキリしていないのです。そういう意味で、これは勉強計画ではない、と判断していたわけです。

勉強計画は、「勉強の目標」「勉強の手段」を組み合わせたものである。

勉強計画、つまり「勉強の目標」と「勉強の手段」を組み合わせたものについて、もっと深掘りしていきます。

勉強の目標。これは、どのスケール＝期間で考えるかによって変わっていきます。例えば、受験勉強全体の目標といたら「志望校に合格すること」なのは間違いないけれど、あなたの今月の勉強の目標は「数学の問題集を一周すること」なのかもしれませんよね。

勉強の手段。手段とは目標を達成するためのものだから、目標が変われば手段も変わります。「志望校に合格すること」という目標に対する手段は複雑すぎて表現できない一方で、「数学の問題集を一周すること」という目標に対する手段は、「とりあえず全問解いて、間違えたところは印をつけておいて後でわかるようにしておく」などが考えられます。

「目標」は、期間の長さによって変わる。そして、「手段」は「目的」に応じて変わる。言い換えれば、期間の長さに対応して、「勉強の目標」と「勉強の手段」のセット＝「勉強計画」が複数個生まれる、ということです。要するに、複数の期間の長さの勉強計画があるよね、っていう話をしたいだけです。

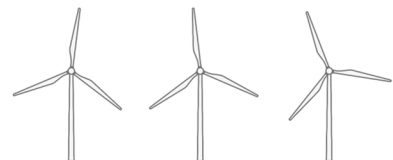
勉強計画は、期間に応じていくつか種類がある。

そして、私たちは様々な期間の勉強計画を「使い分ける」必要があります。

例えば、1年単位の計画だけ考える人が、毎日の勉強する内容を具体的に把握できるでしょうか。逆に、1日単位の予定を毎日立てる人が、長期的に見て一貫した勉強をすることはできるでしょうか。そう。答えはどちらも NO です。言いたいこと、分かってもらえたでしょうか。「長い」目線と「短い」目線の両方を持つことで、具体的かつ一貫した勉強計画を立てることができるようになるのです。

これらのことを踏まえて、propeller 流の勉強計画は4つのパートに分かれます。それぞれ、役割が違います。年単位で大まかに考える「長期」、日～週単位で具体的に考える「短期」、そしてそれらをつなぐ「中期」の3つの期間があり、「中期」は2つのパートに分かれています。つまり「長期」「中期 I」「中期 II」「短期」の4つ。これら4つを併用することで、勉強計画はいい感じになるのです。「え、多くね?」とかいろいろと突っ込みたいかもしれませんが、具体的な役割や使い方は後でみっちり説明するので、とりあえず読み進めてくださいね。

勉強計画は、目的によって使い分ける。



▶ 勉強計画を立てる意義

ここまでの文章を読んで、「勉強計画とは何か」という疑問が解消できたでしょうか。そしたら、次にくる疑問は「なぜ勉強計画を立てるのか」でしょう。ここでは、勉強計画を立てることによるメリットを説明していきます。

① 「受験」というものにリアリティが出る。

学校でやる定期テストと、受験とで決定的に違うのが、「準備時間の長さ」です。受験勉強は数年・数か月単位で取り組むものだから、例えば「受験まであと半年！」とか言われても、しっくりこない。「半年」という時間は、想像するには長すぎるからです。「半年」という概念は分かっても、それに現実味を持ってない、と言った方が正確かもしれません。

受験直前期になったらさすがに焦るのでは？ と考える人もいるでしょう。でも、これは必ずしも正しくありません。長い間受験勉強をしていくと、「受験はまだ先」というぼんやりした感覚が当然のものになってしまう。受験直前期になってもそこから脱却できず、結局現実味を感じられずに本番へ、ということが起きるのです（私はそうでした）。「まだ1年ある」→「まだ半年ある」→「まだ一か月ある」… といった具合に。

受験に関して現実味を感じられないと、モチベーションも上がりません。早いうちに、受験そのものや受験までの日数にリアリティを持たせることが大切です。

そして、この目的を達成する手段の一つが「勉強計画を立てること」なのです。

勉強計画はゴールから遡って考えていくものなので、私たちは嫌でも「ゴール」を具体的に意識します。そして「自分の立ち位置」も理解する必要があります。この具体化の過程で「あれ？ 時間なくね？」という気づきを得ることができます。ぼんやりと考えていた受験までの道筋が、明確なものになるからです。

② 一貫した受験勉強ができる。

物事には順番がある、と私は思います。受験勉強なんかは特にそうです。ある程度のセオリーというものがあるでしょう。まずは、基本的な部分を勉強して、その後学んだことの応用方法を勉強して、その結果、試験問題が解ける。といった感じです。

一般に塾などの機関では、この「勉強の進め方」は研究し尽くされているはずです。講師・教師が最も効果的だと思う順番で生徒が勉強できるようにカリキュラムが組まれているのだと思います。

では、塾などに行かずに勉強している人はどうすればよいのでしょうか。そこまでいなくても、塾で授業を受けていない教科の勉強はどうすればよいのでしょうか。答えは一つ。自分で考えるしかありません。

自分で勉強の進め方を考えるのは面倒。でも、それを軽視すると、勉強は行き当たりばったりになり、効率が良くありません。それに、「何をどういう順番で勉強していくのか」という全体像が見えないまま勉強を続けるのはしんどいものです。まるで、何 km 走るか分からない状態で持久走をさせられているような感じ。ペースを上げるべきなのか、体力を温存しておくべきなのか。そういうことすら分かっていない状態です。

対して、「勉強の進め方」を意識すれば様々な恩恵を得られます。受験で必要となる力をピックアップし、それを伸ばしていくという方針で勉強を進められれば、そりゃ効率は良いでしょう。さらに、勉強の全体像を見ることができるようになる、というすごいオマケまでついてきます。

これが勉強計画を立てる意義の二つ目です。適切に勉強計画を立てることにより、一貫性があり効率的な勉強ができるようになっていきます。これは、大幅な時間と労力の短縮につながります。

とはいえ、今まで説明してきたことはきれいごとです。「勉強の進め方を意識すべき」と書きましたが、そもそもこの「勉強の進め方」が分からないから、行き当たりばったりの勉強をせざるを得ないのではないのでしょうか。それぞれの教科について勉強の進め方を知っていれば、それに従って勉強することはそんなに難しくないはず。そもそも「勉強の進め方」をどうやって知ればいいのか、という部分が問題なのかもしれません。

「勉強の進め方」とか「問題集のルート」とか調べると、いくらでも情報は出てきます。でも、これらの情報を整理するのは大変だし、集めた情報が正しい保証もない。そんなことに時間を使うくらいなら、普通に勉強した方がいいじゃないか！ と思っている人も多いと私は考えています。

これについては安心してください。propeller は「勉強の進め方」についての情報もカバーしています。あなたが勉強の進め方を調べるために費やす時間を肩代わりします。勉強の進め方の方針について複数のアイデアを持っているので、皆さんそれぞれに適した勉強の進め方を提案できるはずです。それをもとに、勉強計画を考えていくのです。propeller のサービスを活用すれば、勉強計画のデメリットを軽減できると信じています。

③ 精神的にラクになる。

勉強しても、なかなか結果が付いてこないことは誰にだってあります。そんなとき、気持ちは揺らいでしまいます。「この勉強法でいいのか?」「こんなペースで間に合うのか?」と考えてしまう。そんなとき、きちんと練った勉強計画が、あなたの支えになるかもしれません。

人生は選択の連続などという言葉がありますが、この「選択」という作業に際して、ヒトは多くのエネルギーを消費するそうです。だから頻繁に勉強方法を変えると、脳のリソースが余分に消費されてしまいます。勉強以外の部分で「頭を使って」しまうのです。

短期的には結果が見られなくても、この勉強法でひとまずは頑張ってみるんだ、とか、この計画のもとで勉強すれば確実に間に合う、とか思えるような勉強計画をあらかじめ持つておくことが、結果的には効率化につながるのです。それに加えて、「自分は計画のもとで勉強ができています。物事をコントロールできている」という実感は、精神状態すら向上させていきます。地に足のついた勉強ができる、と言うこともできるかもしれません。

勉強計画には、「受験というものに現実味が出てくる」「一貫した勉強ができる」
「精神的にラクになる」などのメリットがある。

以上が、勉強計画を立てることの意義です。勉強計画を立てることのメリットはたくさんあります。ここからは、適切な勉強計画とは何か、そして適切な勉強計画を立てるためにはどうすればよいのかを説明していきます。

アウトライン



さて、いよいよ本題。具体的な部分に入りましょう。

先ほど、propeller 流の勉強計画は「長期」「中期 I」「中期 II」「短期」の4つのパートに分かれる、と書きました。勉強計画の全体像や、それぞれのパートの役割について説明していきます。

ここがポイント！

- ✓ 長期の勉強計画 = 抽象的な部分。長期の勉強計画を立てることで、受験というもののリアリティが増し、一貫した勉強ができるようになる。
- ✓ 短期の勉強計画 = 具体的な部分。短期の勉強計画を立てることで、長期の勉強計画を実現させやすくなる。
- ✓ 中期の勉強計画は、長期と短期の勉強計画をつなぐためにある。長期計画を、短期計画で考える期間ごとに細分化する。中期の勉強計画を立てることで、目的意識をハッキリでき、「遅れ」の影響を最小限に抑えられる。
- ✓ 「中期勉強計画 I」でテーマを決めて、「中期勉強計画 II」で勉強内容を決める。
- ✓ 勉強計画を立てるときは、「これはやらなくちゃ本当にダメ」という最低限の計画にするように注意する。計画を立てるときの「最小限」は、実行するときの「最大限」である。
- ✓ 立てた計画から遅れてしまった場合は、躊躇せずに修正する。このとき、勉強の「やり方」を工夫すれば、修正せずに済むケースもある。

▶ 勉強計画の基本事項

勉強計画を立てるコツ。それは「長期 → 短期 の流れを意識すること」です。これはまあまあよく言われることですね。つまり「まずは長い期間の勉強計画を考えて、それをもとに短い期間の計画を立てていこう」ということです。ただ、大切なのは「なぜこの方針がおすすめされているのか」です。この理由について、propeller なりの意見をお伝えします。

まずは「長期」「短期」それぞれの特徴を説明します。

長期の勉強計画を立てる目的は「勉強計画を立てるメリットを生み出すこと」です。長期の勉強計画とは「現在から受験本番まで」の勉強計画です。長いスパンで考えることで全体像をハッキリさせられるので、「あれ？ 実はあんまり時間がない？」というような気づきを得られます。「勉強計画を立てる意義」のセクションで、勉強計画を立てるメリットの1つは「リアリティ」とあると書きましたが、この「リアリティ」を司るのが長期の勉強計画です。

また、「一貫した受験勉強ができる」というのも、長期の勉強計画により生まれるメリットです。一旦長いスパンの枠組みができてしまえば、行き当たりばったりで勉強することを防げます。途中で勉強内容の変更があっても、全体像が見えているからブレにくいのです。

一方で、当たり前ですが、今から受験本番までの計画を綿密に立てて、それをカンペキにこなすなんてことはできません。長期の勉強計画は、あくまで「この時期から過去問に取り組む」とか「この時期から共通テスト対策をする」とか、物事をざっくりと整理するのに向いているものなので、綿密な計画を立てる際には使いません。

長期の勉強計画 = 抽象的な部分。長期の勉強計画を立てることで、受験というもののリアリティが増し、一貫した勉強をできるようになる。

綿密な計画を立てるためには、短期の勉強計画を使います。

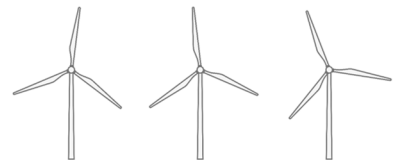
propeller が指す短期の勉強計画とは、「現在から 1 週間～1 か月後くらい」の勉強計画です。さすがに向こう 1 か月の大まかな予定は分かっていると思うので、これくらいの期間なら具体的な計画も実現可能性が出てくるでしょう。

短期の勉強計画の目的は、「長期の勉強計画のメリットを実現させること」です。先ほど、長期の勉強計画にはたくさんのメリットがあると説明しましたが、長期の大まかな計画だけを立ててもうまくは行きません。生み出したメリットは、回収しなければなりません。そのために、長期の計画をどのように実現するかを考える短期の勉強計画が必要なのです。具体的な部分を短期の勉強計画で考えることで、ようやく私たちは「勉強計画のメリット」を受け取ることができます。

短期の勉強計画 = 具体的な部分。短期の勉強計画を立てることで、長期の勉強計画を実現させやすくなる。

「長期の勉強計画はメリットを作り出すため、短期の勉強計画はそのメリットを受け取るためにある」というワケです。

一般に、計画は「長期になればなるほど抽象的、短期になればなるほど具体的」という傾向があることを覚えておきましょう。まずは、抽象的なところから考えて、それを徐々に具体的なものへと落とし込んでいきたいから、勉強計画も「長期 → 短期」の流れになっている、とも言うことができます。



▶ 勉強計画は4種類

勉強計画は、期間によりいくつかの種類に分かれること。そして、それらは「長期 → 短期」の順番で考えていくこと。この2つを説明してきました。ここからは具体的に、propeller で用いる勉強計画はどんなものなのかを説明していきます。

まず、propeller で用いる勉強計画は4種類です。上で述べたとおり、「長期」「中期 I」「中期 II」「短期」の4つです。種類がこんなに多くなってしまったのは、「勉強計画の立て方を分かりやすくすること」を目指したからです。種類が多いとはいえ、計画を立てるのにやたら時間がかかるとかではないので安心してください。計画を立てるときに辿るべきプロセスを細かく分けて、それぞれを別のものとして扱っているから4種類あるというだけです。

このうち、「長期勉強計画」と「短期勉強計画」は、上で説明したとおりです。つまり、「長期勉強計画」は「現在から受験本番までの勉強計画」であり、「受験勉強にリアリティを持たせ、一貫した受験勉強をデザインすること」が目的の計画。そして「短期勉強計画」は、「直近1週間～1か月の勉強計画」であり、「長期勉強計画を実現させる具体的な方法を考えること」が目的の計画です。

でも、結局「どのように計画を立てるか」は説明していませんでした。これについては実例を見た方が分かりやすいと思うので、後の「勉強計画の実例」というセクションを見てみてください。ここでは、なぜか二種類に分かれている「中期勉強計画」の説明をしていきます。

この中期勉強計画は、言わば「長期と短期とをつなぐ勉強計画」です。

短期勉強計画は長期勉強計画をどのように実現させるかを考えるためにあると書きましたが、現在から受験本番までの大まかな計画を、いきなり1週間~1か月スケールに落とし込むことは難しいものです。そこで、「中期勉強計画」が効果を発揮するのです。ここからは、propellerがおすすめしている2種類の中期勉強計画を用いた勉強計画の立て方を説明します。

中期の勉強計画は、長期と短期の勉強計画をつなぐためにある。
長期計画を、短期計画で考える期間ごとに細分化する。中期の勉強計画を立てることで、
目的意識をハッキリでき、「遅れ」の影響を最小限に抑えられる。

① 中期勉強計画 I

まずは、準備段階として、長期勉強計画を複数の「フェーズ=段階」に分けることから始めます。分け方は自由ですが、だいたい「1フェーズ3か月」を目安にして、切れ目を「学校行事の切れ目 (e.g. 長期休暇、定期試験)」や「月の変わり目」、「模試」など、分かりやすいタイミングにしておくといいです。また、すべての教科で「切れ目」は揃えておくべき。勉強計画全体でちゃんと「区切り」を付けられるので、気持ちを切り替えやすいからです。

複数のフェーズに分けることができれば、教科ごとのテーマを決めます。ここからが、「中期勉強計画 I」の本編です。

テーマを決めるのは、一貫した勉強をするためです。1つのフェーズの間、決めたテーマに沿って勉強を進めていくのです。テーマを意識することで目的意識ができるので、自動的に勉強に一貫性が生まれていきます。

テーマは一番直近のフェーズについてだけ考えればよいと思います。そして、そのテーマ自体もぼんやりしたものでOK。例えば、「夏の模試に向けた勉強をメインにする」「電磁気分野を克服する」「参考書の〇〇を終える」みたいな感じで。

テーマを教科ごとに立てられたら、「中期勉強計画 I」は終了です。

少し補足。わざわざこの作業を「中期勉強計画」という名前にしていますが、実際はこれを「長期勉強計画」と併せて行うことが多いです。作業の本質的な部分が「長期計画と短期計画をつなげる」ことにあるので、「中期勉強計画」としているのです。え？ そんなことどうでもいい？？ じゃあ次に移りましょう。

② 中期勉強計画 II

ここでは「中期勉強計画 I」で立てた直近のフェーズのテーマに沿って、教科ごとに具体的な勉強計画を練っていきます。

まずは、勉強内容を考えます。勉強内容とは、どんな参考書・問題集を使うか、などです。おススメの書籍などはきちんと調べる必要があり、面倒ですが大事な部分なので手を抜かないように。「参考書を買って、勉強方法を考える」という順番ではなく、「勉強方法を考えて、それに応じた参考書を選ぶ」という順番が正しいです。

塾に通っていたり、学校の授業が超有能だったりする場合もあるでしょう。そういうときは、「塾や学校の授業を、テーマに沿って活用する」という方向性で考えます。

例えば、学校の化学の先生が、語呂合わせのスペシャリストだったとします。ここで、直近のフェーズのテーマが「化学の暗記事項をマスターする」とかなら、学校の授業を有効活用できそうです。学校の授業に加えて、わざわざ自分で教材を選んで勉強する……みたいなことはしなくていいかもしれませんよね。そういうことです。

みんな大好き 5W1H を活用するのも効果的。つまりは、「何を」「どのくらい」「いつまでに」「どのように」やるのかを明確にするのです。「どこで」はあんまり関係ないから 4W1H か？ まあいいか。

この段階では、考えたこと・思ったことをきちんと文章にしておきましょう。上に書いた 5W1H の要素に加えて、「なぜそのような計画にしようと思ったのか」「何を目的にしているのか」みたいなアイデアがあれば、計画を立てる段階で絶対に記録しておくべきです。実際に勉強するときの指針になるからです。どんなに些細なことでもメモします。具体的にどんな感じでメモるのは後で説明しようと思います。

勉強内容の見当がついたら、次のステップへ移ります。1 フェーズさらに分割して、1 か月単位の内容にするのです。フェーズを 1 か月単位に分割できたら、直近 1 か月の計画について考えていきます。

1 フェーズをさらに細かく分割することで、計画が上手く行かずに修正する必要が出てきても、影響を最小限に抑えることができる構造を作れます。具体的なスケジュールなどを考えるのは直近 1 か月分だけでよいですが、勉強量の配分に無理がないよう注意します。「本当に立てた計画が期限内に終わる分量なのか」をチェックするということです。焦る気持ちは分かりますが、まずは、少なめの量から始めたほうが良いですよ。

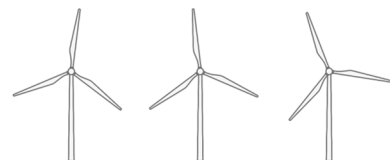
チェックすべきなのは「勉強の量」だけではありません。「勉強のやり方」も大きな要素であることを覚えておきましょう。同じ勉強の量でも、その取り組み方によりかかる時間は大きく変わってきます。どう勉強するかにも配慮することが、うまく計画を立てるためのコツの一つなんです。

確認して問題がなさそうだったら、「中期勉強計画 II」も終了。後は、これを「短期勉強計画」に落とし込み、「いつ、何をやるか」を確定していきます。

以上が、「中期勉強計画」の概要です。なんか長くて分かりにくいですね。そういう方は、「勉強計画の実例」のセクションを見てみてください。実際に勉強計画を立ててみるので、それを見た方がイメージをつかみやすいと思います。

とにかく、この時点で分かって欲しいことは、「中期勉強計画 I」でテーマを決めて、「中期勉強計画 II」で勉強内容を決めるということです。これならシンプルで分かりやすいはず。

「中期勉強計画 I」でテーマを決めて、「中期勉強計画 II」で勉強内容を決める。



▶ 勉強計画の注意点

ここまで、勉強計画の立て方の説明をしてきました。それに加えて、いくつか注意すべき点があります。私の受験生時代の経験に基づいた、魂のメッセージをどうぞ。

① 「最低ライン」の計画を立てる（短期）

一度でも勉強計画を立てたことがある人には、きっと共感していただけるでしょう。張り切って、滅茶苦茶な量の計画を立ててしまうのです。

計画を立て始めると、謎の高揚感を感じる。「よし！ 自分に秘められた力はこんなもんじゃないぞ！」と「まだまだできるでしょ☆」が積み重なる。びっしり埋まった計画表。心も満ち足りて、「明日から頑張るぞ！」と決心する。そして初日から挫折。私はこのサイクルを数えきれないほど繰り返しました。そして気づいたのです。

「最低ライン」の計画をこなせる私はエライ！！！！

計画段階での「最低ライン」、つまり「どれだけ譲歩しても、絶対にこなす必要があるライン」が、いつの間にか高い壁となってこちらへ向かってくるのです。「さすがにこれくらいはできる、いや、やらなきゃダメ」だったはずの計画に、気がつけば追い詰められているのです。

計画段階での「最低ライン」は、実は「ギリギリ乗り越えられる高い壁」。そんな意識を持っておくといいかもしれませんね。

結局言いたいことは、「あまり計画を積み込みすぎるな」という陳腐なことです。「じゃあどれくらいを目安にすればいいのか教えてよ」という（受験時代の私が抱いていた）疑問に答えるならば、それが「計画段階で、あなたが考える最低ライン」ということになります。これですらキツイと思います。成功率は50%くらいでしょう。あんまり自分に厳しくしすぎないほうがいいですよ。精神的にすり減ってしまうだけだから。

勉強計画を立てるときは、「これはやらなくちゃ本当にダメ」という最低限の計画にするように注意する。計画を立てるときの「最小限」は、実行するときの「最大限」である。

② ためらわずにさっさと修正する（短期）

さて。上記の文章によると、「最低ライン」の計画を立てたとしても、それなりの確率でうまくいかないっばい。「うまくいかなかったときにどうするのか」を考える必要があるでしょう。折角立てた計画だけど、いろいろあってそれより遅れてしまったなら、取れる選択肢は2つ。「遅れを取り戻すように頑張る」か「計画通りの勉強を諦める」か。

propeller 的には「諦める」一択です。計画から遅れた時点でさっさと諦めるほうが賢明だと思うのです。なぜか。

実際には、遅れた分を取り戻そうと頑張る、という選択肢を取る人もいるでしょう。でも正直なところ、頑張った結果取り戻せる量なんて、たかが知れていると思いませんか。決して、みなさんの努力をバカにしているとかではありません。「そんなこと言ってもらえないだろ!」という気持ちはよく分かるんですけど、冷静に考えてみてください。

計画から遅れるという事態が発生した時点で、十中八九その計画には無理がある。そんな無理のある計画をさらに上回るペースで頑張り続けるのは本当に難しい。一日や二日ならまだしも、それを何週間も続けられるでしょうか。もしできるのならば、とっくにやっているはず。遅れることなんてないんです。

計画から遅れた原因は自身の怠惰なのだと、自分を責めてしまう人もいるでしょう。でも、その怠惰ですらある意味「仕方がない」ことだと割り切りましょう。私たちは機械じゃないから、毎日を完璧に過ごせやしない。いくら受験生だからといって、毎日死ぬ気で勉強し続けることはできません。

「努力がムダ」って意味ではないですよ。努力の方向性の話です。「死ぬ気で努力するため」に努力するんじゃないです。「自分のやる気、モチベーションをコントロールするため」に努力をするんです。

体育会系のスタンスからは外れるし、各所に怒られそうではあるけれど、毎日 100%の努力ができなくても結果は残せます。怠けてしまうことを前提にしたうえで、スケジュールと精神に適切なゆとりをもって勉強した方が、はるかに健全でうまく行くと私は思うのです。毎日 100%の努力を目指して、でも（人間である以上）それはできなくて、精神的に追い詰められていくのではなく、毎日 80%くらいの努力を「し続ける」のです。

いくら頑張っても立てた計画に追いつけないという状態は精神的に負荷がかかる。モチベーションもだだ下がりする。そして結局「計画立てても意味なし！ やーめた」となってしまう。これでは本末転倒です。というかそもそも、「計画に追いつこうと頑張っている状態」って、計画を立てて勉強していると言えるのでしょうか（突然の哲学的問題）。

長々と語ってしまいましたが、要するに、状況が深刻になる前にさっさとその（無理のある）計画を切り捨てて、修正したほうが良いということです。「予定通りコトが進んでいる」という状態を保つ

ことで、精神的に安定して、結局はうまくいく。そして、計画を何度も修正すれば、自ずと「自分に適した」量が分かってきて、最終的には計画を立てるのもうまくなっていく。いいサイクルだと思いませんか。

でも、鋭いあなたは、「そんなに計画を修正し続けたら、それこそいずれ取り返しのつかない事態になるのでは？」と思うかもしれない。でも、これに関しても問題ありません。

何度も修正し続けるのは「短期計画」で、「長期計画」はなるべく変更させないようにするのです。実際に勉強する方法を考える「短期計画」をより効率的なものにしていく、という方針です。クオリティを落とさずに、もっと「効率よく」勉強できないのかを考えていけば、勉強の進み具合自体は変えずに済みます。「計画を修正し続けても、取り返しのつかない事態にはなりづらい」のです。

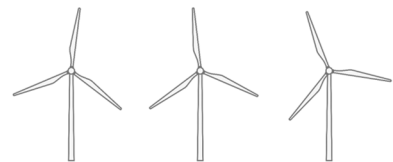
そんなうまい話があるのかって？ 疑う気持ちは分かりますが、少し考えてみてください。皆さんは少なくとも数か月間、受験勉強をし続ける（し続けてきた）のです。月日を経るにつれて、皆さんの勉強の仕方自体も洗練されていくのです。同じ成果を、時間をかけずに得られるようになっていくのです。中学生の頃をしていた勉強を思い返してみましょう。定期考査が主でしょうか。図らずとも、勉強の仕方は「うまく」なっていませんか。自覚できなくても、その進化は今後も続いていきます。

立てた計画から遅れてしまった場合は、躊躇せずに修正する。このとき、勉強の「やり方」を工夫すれば、修正せずに済むケースもある。

ためらわずに修正することのメリットは他にもあります。計画を立てて勉強することが嫌いな人が、長期的な進み具合はコントロールされた状態で、自由に勉強することができるということです。

勉強計画が嫌いな人が持っている意見の一つに、「計画を立てると、その日の気分に合わない勉強をする必要が出てくる」というものがあると思います。今日は数学を勉強したい気分なのに、英語を勉強しないといけなくてやる気がでない、みたいな。でも、「長期計画は変えないけれど、短期計画は積極的に変える」という姿勢を持っていれば、週ごとにトータルの勉強内容は変えずに、その日の気分に応じて一日ごとの勉強内容は変えられる、のような対応が可能です。そう。計画に柔軟性が生まれるんですよ。

そういう意味で、propeller の勉強計画は様々な方に活用していただける構造をしていると思っています。買いかぶりすぎかもしれませんが。



勉強計画のアップデート



勉強計画は、立てて終わりではありません。受験生の状況は刻一刻変わるので、それに応じて計画を練り直さなければなりません。

では、4種類ある勉強計画のうち、どれをどのように更新していくのでしょうか。それを説明していきます。

ここがポイント！

- ✓ 計画は、期間が長いものから考え、期間が短いものから変更する。
- ✓ 短期の勉強計画は1週間くらい、中期の勉強計画は1か月くらいのペースで更新する。
- ✓ 長期の勉強計画を変えることはほとんどない。
- ✓ 勉強の「やり方」を工夫して、遅れを調整する。
- ✓ 模試を活用して、弱点を潰すという方針で勉強計画を考える。
- ✓ どうしても計画が上手くいかないときは、周りにアドバイスを求める。

▶ 計画変更の優先順位

まず、セオリーとして、「計画は、長いものから決めていき、短いものから変更していく」ということを覚えておきましょう。つまり、何かしらの理由で計画を変えるときは「短期勉強計画」から変えていきます。短期勉強計画を変えるときは、中期勉強計画を確認し、それがなるべく崩れないような形で修正できるように意識します。

計画は、期間が長いものから考え、期間が短いものから変更する。

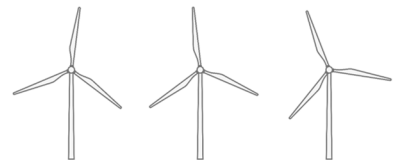
そもそも、短期勉強計画は長くて1か月スケールなので、更新する頻度は高めです。何なら、計画を毎週更新していてもいいかもしれません。私が受験生の時は、毎週日曜日の夜中に次の週の予定を考えていました。自分の成績などの状況、学校や部活・塾の忙しさに合わせて、適切な計画を立てられるとよいですね。

そして、「中期勉強計画」。一応3か月ほどの期間の計画ですが、具体的な中身を考えているのは直近1か月くらいのはずです。よって、中期勉強計画は毎月更新していけばいい感じだな、と考えておけばよいでしょう。

短期の勉強計画は1週間くらい、中期の勉強計画は1か月くらいのペースで更新する。

一方で、「長期勉強計画」を変えることはほとんどありません。長期勉強計画は、具体的な計画の目途をつけるためのものです。ここを変えると受験勉強全体に影響を及ぼすので、万が一長期計画を見直すときは注意しましょう。計画を見直すのは、例えば志望校を変えるときや、受験教科を変えるときくらいだと思います。

長期の勉強計画を変えることはほとんどない。



▶ 計画変更のポイント

一部、これまでに説明した内容と重複しますが、計画を変更・更新するときにはポイントがあります。

① 計画を後ろ倒しにする前に、できることを考える

計画通りに勉強ができなかったとき、それは計画に無理があるのではなく、やり方に無理があるのかもしれない、という考えを持ちましょう。

例えば英単語を覚えるとき、書いて覚える人と、見て覚える人がいますよね。もちろん合う合わないの要素はありますが、やはり書いて覚える方法は効率がよいとは言えないでしょう。このとき、英単語を見て覚えるようにしたら、計画のペースを落とさなくてもよくなるかもしれませんよね。

復習のやり方から、ノートの手作りまで。効率化できる部分は意外とたくさんあるものです。

勉強の「やり方」を工夫して、遅れを調整する。

② 模試の結果を活用する

計画を立てるときは、「自分の弱点を見つけ、それを克服する」という方針を意識します。これを実践する意味で、模試は非常に重要な役割を持っています。何か模試を受けて、それが返却されたときに、思い返して欲しいことがあります。

「設問別の配点」に注目する、ということです。また、模試によっては採点講評が公開される場合があります。「〇〇のミスが多かった」みたいな記述があったりするので、そこにも注目してみてください。

模試が返却されたら、ミスの分析をきちんと行います。何が原因でミスをしてしまったのか。知識不足？ 時間配分のミス？ それとも単なる凡ミス？ ここらへんを明確にして、計画を立てるのに応用していくのです。具体的な模試の活用方法は、propeller のブログで解説します。ぜひ見てみてくださいね。

模試を活用して、弱点を潰すという方針で勉強計画を考える。

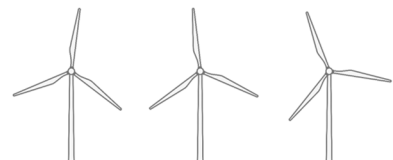
③ どうしても上手くいかないときは、アドバイスを求める

計画を立てても、全然その通りに勉強できない。結果もついてこない。こういうとき、精神的に追い込まれてしまいますよね。そういうときは、周りを頼ってください。話を聞いてくれそうな学校の先生、塾のアドバイザー、そして propeller など、手を差し伸べてくれる人は必ずいます。

あなたの計画・勉強方法は悪いから変えろ、という意味ではなくて、様々な視点から物事を考えよう、という話です。他人は、あなたとは違った考え方をします。それらを謙虚に受け止めることで、あなたの受験勉強はよりよくなっていくでしょう。

精神的にキツくなってきて、話を聞いて欲しくなって、でも適切な人がいなかったら、propeller に連絡してください。何かしら、力になってみせます。

どうしても計画が上手くいかないときは、周りにアドバイスを求める。





勉強計画の実例

ここでは、実際に勉強計画を一から立ててみることで、propeller の勉強計画の流れをより分かりやすく説明していきます。実際に皆さんが計画を立てるときに参考にできると思うので、読んでみてくださいね。

ここがポイント！

- ✓ 勉強計画は、情報収集が命。
- ✓ 様々な種類のサイトから、情報を集めるべし。
- ✓ propeller の勉強計画は、「情報収集」→「長期勉強計画」→「中期勉強計画 I」→「中期勉強計画 II」→「短期勉強計画」の順番。

▶ ケース: 高校3年生 4月 (私立志望)

勉強計画を考えるにあたり、現時点の話でいいから、志望校・志望学部にある程度の目途を付けることが必要です。それに加え、志望する大学・学部の入試情報もチェックできるとなおよいですね。入試情報とは、どのような入試スタイルか？ (共通テスト利用 or 独自作成など)、どの教科が必要か？ それぞれの得点の配分はどうなっているか？ などといった情報のことです。これらは、計画を一貫したものにするに必須です。とりあえず、計画を立てる時点では「合格に必要な得点」はまだ考えなくてよいと思います。これは、過去問演習など、実践的な勉強をするタイミングで使う情報です。

さて、志望する大学・学部にある程度の目途が付いたとします。今回のケースでは、「共通テスト利用型と一般型 (学校の独自作成問題) を併願する」という方針にしてみます。教科・科目については、例えば以下になるでしょう (理系の場合です)。

共通テスト: 国語 (現古漢)・数学 (IA IIB)・理科 (化学)・英語

一般: 数学 (IA IIB III)・理科 (化学)・英語

すべての教科について例を出すのは大変なので、今回は「英語」に焦点を当てて勉強計画を考えてみます。

STEP 1: 前提知識を習得する。

計画を立てるためには、あらかじめ知っておくべきことがあります。まずはそれらを確認します。

あらかじめ知っておくべきこととは、例えば「英語の勉強の進め方」「共通テスト対策を始める一般的な時期」などです。これらは計画の根幹となるものであり、かつほとんどの人で共通する部分です。propeller はこういう情報をブログにまとめているので、まずそこを見てみるとよいかもしれません。もちろん、同様の情報を提供している web サイトは他にもあると思います。

また、propeller の「勉強計画提供サービス」では、みなさんそれぞれに対応した情報提供を行っています。無料ですし、こういうのも利用するのもアリです（宣伝失礼しました…笑）。

勉強計画は、情報収集が命。

STEP 2: 「長期勉強計画」

いよいよ、計画を立てる作業に入ります。まずは一番長い期間のもの。長期勉強計画から考えていきます。

まず、長期勉強計画を考える上で大切なことがあります。それは「ゴールから逆算して枠組みを作る」ということです。みなさんの受験勉強のゴールは定まっています。「入試当日」です。だから、そこから現在へとさかのぼる形で計画を立てていこうぜ、ってことです。

結構よく言われることだと思います。でも、まさにここで、私たちは困難に陥るわけです。「情報が無い」という困難です。さかのぼって計画を立てろ、と言われても、どういう勉強をすべきで、それにどれくらい時間がかかるのか分からない。こういう問題です。

計画を立てるなら、この困難・問題に対処しなければなりません。そして、そこで生きてくるのが、上で書いた「前提知識」です。事前に習得しておいた前提知識や、受験経験者の助言をもとに、先を見通す。その結果、「長期勉強計画」は実現します。

もちろん、中身は人によって異なるのですが、標準的だと思われる一例を下に示します。

Study Planner 長期勉強計画シート

[illegible]

〈図〉 propeller 長期勉強計画シート（テーマ部分を記入したとき）

ここまでの作業をキッチリやる必要はありません。あくまで目途をつけることが目的なので、現実味がある範囲であれば「だいたい」で OK です。詳しい部分は次の「中期勉強計画」で考えます。

STEP 3: 「中期勉強計画」

フェーズに区切る作業が終わったら、次はもう少し具体的に考えていきます。最も直近のフェーズについてのみ考えます。上の図で考えるのなら、「phase 1.」です。この時期に限定して、具体的にどんなことを勉強していくのかを考えるわけです。

本紙では、勉強計画の実例を英語だけに限っているので、ここからは「4月～夏休みの期間に、英語の勉強は何をするか」を考えます。

「中期勉強計画Ⅰ」で考えるのは、テーマでしたね。つまり「どう勉強を進めるか」の方針を考えるのです。勉強の進め方はある程度定石と呼べるものがあります。これは「前提知識」であり、事前に調べられていると最高ですが、実際はそう上手く行きません。でも、分からなければその都度調べればいいだけの話です。例えば、googleで「受験勉強 英語 何から始める」とかの適当なキーワードで検索すれば、いくらでも記事がヒットします。

私は「情報集めのための調べもの」を大いに推奨します。propellerのブログに限らず、様々なサイトをめぐってみると良いでしょう。ここで注意したいのは、「複数のサイトから情報を集めて、比較する」ということです。どうしても、一つのサイトでは情報が限られていたり、歪んでいたりするので。

様々な種類のサイトから、情報を集めるべし。

それで、「受験勉強 英語 何から始める」みたいに検索すると、「単語・文法を固めて、その後長文に移る」という意見が多いようですね。私もこの意見におおむね賛成です。強いて言うならば「単語・文法最優先とはいえ、長文全くやらないのはどうなの…？」ってことですかね。共通テストの文章量はエグイから、早めに長文に慣れておきたいのです。

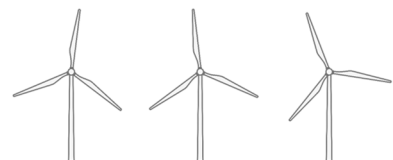
まあそんなこんなで、「単語・文法が最優先で、長文も少しやる」という方針が立ったとしましょう。つまり、4月から夏休みまでの期間では、主に単語・文法を勉強して、長文問題で実践する機会も確

保する、ということです。これがフェーズ 1・英語の「テーマ」です。後は、これに沿う形で勉強する内容を考えます。STEP 3、終了！

STEP 4: 「中期勉強計画 II」

「中期勉強計画 II」で考えるのは、勉強方法でした。「単語・文法が最優先で、長文も少しやる」というテーマに沿って、具体的な勉強方法を考えていくのです。今回は、「塾には通っていない」という前提でいきましょうか。

まずは what、つまり「何を勉強するか」です。参考書・問題集を選んでいきます。本来は、ここできちんと考えなければならないのですが、少し省略してポピュラーなものを選択してしまいましょう。



やることの具体的な内容が定まってきました。この段階で「長期勉強計画シート」を完成させられます。以下のようになりますね。

Study Planner

長期勉強計画シート

:

	4	5	6	7	8	9	10
	Phase 1.				Phase 2.		Phase 3
	これまでの復習、基礎の徹底				まとめ。実践的な演習へ		実践。2次・私立対策（徐々に）

英 語	4	5	6	7	8	9	10
	Phase 1.				Phase 2.		Phase 3
	NextStage システム英単語 英語長文 ハイパートレーニング ② 標準編						

	4	5	6	7	8	9	10
	Phase 1.				Phase 2.		Phase 3

〈図〉 propeller 長期勉強計画シート（英語の計画を記入したとき）

次に how、つまり「どのように勉強するか」「どれくらい勉強するか」を考えていきます。この内容を「中期勉強計画シート」に書いていきます。

英語の勉強法なんかも、ネットで調べれば情報がいくらでも出てきます。「それが自分にあった勉強法なのか」はちょっと実際に試してみて判断するといいです。勉強の量については、計画を立てる時点でカンペキに見積もることは難しいです。まずはあくまで「仮決定」という形にしておいて、そして実際にやってみて微調整する、という方針を意識します。

考え方の一例として、例えば「問題集を週2でやって、3か月で一周するためには、1日につき〇問のペースで進めればいいのか。いけそうじゃね？」みたいなのもいいですね。

これらを踏まえて、今回は以下のような勉強方法にしてみました。下の図は「中期勉強計画シート」の例です。思考過程まるごと、文章に書き出すことができると good です。

Study Planner 中期勉強計画シート I, II	
Phase: 1 Subject: 英語 Theme: 単語・文法が最優先で、長文も少しやる	
【NextStage】 だいたい1600問くらいあるらしい。多いな。 でも、これをとりあえず1周することがPhase 1. の目標。夏休みに入るまでだいたい15週間くらいあって、中間考査と期末考査が入ってくることを考えると……1週間で150問くらいのペースで解ければいい感じか。 部活がある日は多分できないから、とりあえずは月曜日、水曜日、土曜日に取り組むことにしよう。単純計算で、1日当たり50問のペースでやっという。で、それ以外の日は間違えたところの解きなおしとかをやる。 あと、単純に「問題演習」だけになっちゃうとダメ。きちんと文法事項をおさえることが大事だから、解いてよく分からないところがあったら、必ず学校のプリントか「総合英語 Evergreen」を使って確認する。これは絶対にやる！！！！ 【システム英単語】 単語の勉強は毎日やりたい。毎日やるから、挫折しないような分量から始めよう。 全部で2000語ちょっとくらいだから、「1日50個、同じものを2日間」やるって感じにしよう。そうすれば、計算上では3か月弱で1周できる。あとは、夏休みにちゃんと覚える感じでいい。	理想的には、「朝電車の中で見る→帰りの電車の中で見る→寝る前に確認」って感じにしたい。これができなくても、「毎日やる」っていうことは必ず守る。全然時間がかかるものでもないだし、夜、意地でも勉強する。 【英語長文 ハイパートレーニング ② 標準編】 長文の演習。12個長文が載っているらしいから、週末に1つずつ取り組む。その日中に復習も済ませる。具体的にどのように勉強していくかは、実際にやってみないと分からないから、とりあえずここでは省略しよう。

〈図〉 propeller 中期勉強計画シート（更新前）

これで、「中期勉強計画 II」が終わりました。最後に、「短期勉強計画」を考えましょう。これは簡単です。中期勉強計画で考えたことを、1 週間の予定に落とし込んで行くだけです。例えばこんな感じ。

Study Planner

短期勉強計画シート

Week: 1

4 / 3 Mon.	4 Tue.	5 Wed.	6 Thu.	7 Fri.	8 Sat.	9 Sun.
	ぶかつ		ぶかつ	ぶかつ		ぶかつ
システム英単語 -50	システム英単語 -50	システム英単語 -100	システム英単語 -100	システム英単語 -150	システム英単語 -150	単語確認
NextStage -50	(復習)	NextStage -100	(復習)	(復習)	NextStage -150	(復習)
					英語長文	

〈図〉 propeller 短期勉強計画シート

以上で、英語の勉強計画を立て終わりました。こんな感じで勉強計画を考えていくといいんじゃないかな、と私は思います。

propeller の勉強計画は、「情報収集」→「長期勉強計画」→「中期勉強計画 I」
→「中期勉強計画 II」→「短期勉強計画」の順番。

最後に、勉強計画の保守、つまり修正・更新の仕方の解説をさせていただきます。

勉強計画の修正・更新について。上記の勉強計画を立ててから、2週間くらい経った時のことを想像してみましょう。最初の週はやる気に満ち溢れていましたが、学校と部活でかなり忙しいこともあり、徐々に苦しくなってきました。

「中期勉強計画シート」の後ろの方、英語長文について書かれた部分を思い返してください。当時は「実際にやってみないと分からないから詳細を考えるのは後で」としていました。やる気があった最初の週は、ものすごく丁寧に取り組んだことでしょう。例えば、「問題を解いて、分からない単語と意味の取れなかった文をピックアップして、きれいにノートにまとめる。翌日にもう一度問題を解き、分からないところが完全になるまで音読をし、単語は暗記する。」……みたいな。ところが次の週末、どうしてもやる気が起きません。「え。先週と同じことを今週もやるの？先週3時間くらいかかったよ？」と思ってしまい、なかなか机に向かうことができません。

ここで大切なのは、「やっぱムリ！やめた！！」とならないこと。考えるべきなのは「じゃあ、どれくらいの量だったら継続して勉強できるかな」ということです。言い方は悪いですが、理想と現実の妥協案を見つけていくのです。これが、勉強計画を修正していくということです。

実際に勉強計画を修正していきましょう。「短期勉強計画」は毎週更新していくものなので、今回は省略。「中期勉強計画」の修正をしていきます。

数週間取り組んでみて、なんとなく「自分ができる」量に見当がついたのではないのでしょうか。それをもとにして計画をアップデートします。計画に追いつくために頑張ることも大切ですが、「追いつける」計画を立てられるように頑張ることも大切なのです。結果的に、下の図のように修正できると思います。あくまで一例です（赤字が修正部分）。

Study Planner 中期勉強計画シート I, II

Phase: 1

Subject: 英語

Theme: 単語・文法が最優先で、長文も少しやる

【 NextStage 】

だいたい1600 問くらいあるらしい。多いな。

でも、これをとりあえず1 周することが Phase 1. の目標。夏休みに入るまでだいたい15 週間くらいあって、中間考査と期末考査が入ってくることを考えると……1 週間で150 問くらいのペースで解ければいい感じか。

部活がある日は多分できないから、とりあえずは月曜日、水曜日、土曜日に取り組むことにしよう。単純計算で、1 日当たり50 問のペースでやっていこう。で、それ以外の日は間違えたところの解きなおしとかをやる。

あと、単純に「問題演習」だけになっちゃうとダメ。きちんと文法事項をおさえることが大事だから、解いてよく分からないところがあったら、必ず学校のプリントか「総合英語 Evergreen」を使って確認する。これは絶対にやる！！！！

結構きついけど何とかできている。月、水、土曜日はとりあえず問題を解いて、次の日に学校のプリントで確認する感じになっているけど、まあいいや。

【 システム英単語 】

単語の勉強は毎日やりたい。毎日やるから、挫折しないような分量から始めよう。

全部で2000 語ちょっとくらいだから、「1 日50 個、同じものを2 日間」やるって感じにしよう。

そうすれば、計算上では3 か月弱で1 周できる。あとは、夏休みにちゃんと覚える感じでいこう。理想的には、「朝電車の中で見る一冊りの電車の中で見る一冊の前に確認」って感じにしたい。これができなくても、「毎日やる」っていうことは必ず守る。全然時間がかかるものでもないんだし、夜、意地でも勉強する。

まずい全然覚えられない。っていうか電車の中だと絶対寝ちゃうんだよね。結局寝る前に詰め込んでるだけだから覚えられない気がする。だからと言って家帰ってからすぐ見る！とかも無理だろうし、学校でもできない。うーんちょっと考えよう。とりあえず寝る前にやるってのは続ける。覚えるのは一回きりじゃなくて、夏休みにも復習するし。「これ見たことあるなー」みたいな単語を増やす。

【 英語長文 ハイパートレーニング ② 標準編 】

長文の演習。12 個長文が載っているらしいから、週末に1 つずつ取り組む。その日中に復習も済ませる。具体的にどのように勉強していくかは、実際にやってみないと分からないから、とりあえずここでは省略しよう。

最初の週はめっちゃ頑張ったけど、続かなかった。でも、長文読んで、丸付けして、解説読んで、問題文のコピーに分らない単語の訳を書き込んで音読する、くらいの強度ならいけそう。ノート作るのに時間かかるから、そこを減らして効率化する。最初の5 枚だけ使ったノートもったいねえー。他の何かに使おう。

〈図〉 propeller 中期勉強計画シート（更新後）

おわりに



いかがだったでしょうか。この資料を見たあなたに、何かしらの学びがありますように。

propeller は、受験生の皆さんを応援しています。頑張ってくださいね！

▶ お問い合わせをしましょう

この資料に関するご意見・ご感想を募集しています。些細なことでもいいので、何かしらフィードバックを頂けると幸いです。ぜひよろしくお願いします。

メールアドレス: [info\[at\]propeller-jp.com](mailto:info[at]propeller-jp.com) ([at]を@に置き換えてお使いください)

propeller は web 上で展開されているサービスで、主に「ブログでの情報提供」「勉強計画提供サービス」の二つに分かれます。本資料は「勉強計画提供サービス」の一環という位置づけであり、「皆さんが自力で勉強計画を立てられるようになること」を目指したものです。ただ、様々な方へと配布できるように、内容はあくまで一般的なことに留めてあります。個別に対応して欲しい、相談をしてみたいなどありましたら、下記の web サイトをご覧の上、勉強計画サービスをご利用いただければ幸いです（サービスはすべて無料で利用できます！！）

また、勉強計画に付随する情報、つまり「各科目の勉強の仕方」「参考書・問題集の使い方」については、ブログにて情報提供を行っております。こちらも是非ご覧くださいね。

Web サイト: 「propeller – 東大生による勉強計画提供サービス」

URL: <https://propeller-jp.com/>

